

「福祉サービス第三者評価」等を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	浴風会 松風園	受審(実施)年度 (※)	令和5年度	施設番号	23 -0002
-----	---------	-----------------	-------	------	----------

※第三者評価または利用者調査実施の年度

項目	評価結果に基づく現状分析 (令和5年度)	改善計画 (令和5年度末時点)	実施状況(予定を含む) (令和6年4月30日時点)	左記実施状況に実施予定があった場合の実施状況 (令和6年4月30日時点)
余暇の充実について	ADL または認知機能レベルの低下が懸念される利用者ほど、施設内の余暇活動に参加されていないことから、従来通りの「自由参加型」ではなく、新たな取り組みの必要性を感じた。	職員・利用者にアンケートをとり、クラブ・サークル活動を新たに企画する。そのうえで、レベルの低下が懸念され、部屋で引きこもりがちになっている利用者に対して、個別に招待状を手渡し、部屋を訪ねてお誘いし、参加を促すことで、効果測定を実施する。	1 実施済み 2 実施予定 (年 月ごろ) 具体的には以下のとおりです。 対象となる利用者のクラブ・サークル活動への参加が大幅にあり、参加された利用者からも満足の声をきくことができた。	1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。
介護予防の強化について	コロナ過の影響で、利用者の虚弱化が進んでいることが懸念され、施設として介護予防の取り組みを強化する必要性を感じた。	職員間の協議により、機械リハビリを実施する。4月から複数の職員に介護予防指導士の資格を取得してもらい、運営方法などを協議し、10月から試行的に開始する。月に一度、10名弱の参加とし、下肢筋力の強化、体幹強化を目的とした筋トレ、有酸素運動等のメニューを組み、毎月実施する。	1 実施済み 2 実施予定 (年 月ごろ) 具体的には以下のとおりです。 目に見える効果はないが、参加した利用者の健康意識の向上と、職員の介護予防及び機能訓練のノウハウの獲得など、得るものが多くあった。	1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。
地域との交流の促進について	コロナ過の影響で、地域とのつながりが希薄となりつつあるため、関係性をあたためなおすために、何らかのイベントを企画し交流を促進する必要性を感じた。	利用者有志が活用していた構内の畑を活用し、地域団体である「未来の暮らし創造塾杉並」とともに、畑の管理を共同で行う「北棟ファーム」を開始する。年内に複数回打ち合わせを行い、12月から共同運営を開始。毎週定期開催とし、主に季節の農作物を栽培、収穫する活動を地域住民とともに実施する。	1 実施済み 2 実施予定 (年 月ごろ) 具体的には以下のとおりです。 利用者と地域住民との交流の場が増えたことで、コロナ前の交流が復活した。じゃがいもやさつまいもを収穫し、地域交流に役立てることができた。	1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。

※この様式は、「東京都民間社会福祉施設サービス推進費補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「とうきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。